

## 研究活動報告

### 九州大学大学院工学研究院公開講座 「地球環境とエネルギー（大気、海洋、大地と人）」

九州大学大学院工学研究院公開講座「地球環境とエネルギー（大気、海洋、大地と人）」は、箱崎キャンパスの国際ホールにおいて、2002年6月15日から7月20日までの毎土曜日に開催された。工学研究院の環境システム科学研究センターに所属する江崎哲郎教授は、第1回の「地球の歴史と人類の活動」において、環境の危機を招く要因のひとつとして人口増加をとりあげた。最終第6回では、筆者が「人口問題と地球環境」のタイトルで次の構成の講演を行い、また、受講生からの活発な質問に回答した。

1. 世界人口の推移
2. 人口をめぐる論争
3. 世界の現状にみる人口の影響
4. 人口問題へのとりくみ

なお、配付資料、受講生の感想等は、環境システム科学研究センターによって公開講座資料集『地球環境とエネルギー（大気、海洋、大地と人）』（ISBN：4-901565-03-6）にまとめられている。

（今井博之記）

### 第3回 JBIC シンポジウム

2002年7月18日、国際協力銀行（JBIC）は如水会館（東京）にて第3回 JBIC シンポジウム「21世紀の開発援助戦略：地球規模問題、地域問題」を開催した。政府関係者、在京大使館、国際機関、民間企業等からおよそ200名が参加した。今回のシンポジウムは、JBICの開発金融研究所が開発援助において今後重点的に対処すべき課題を抽出し検討した「21世紀の開発援助戦略」調査をもとに、21世紀のグローバルな開発課題や地域別課題に関して議論をおこなうことを目的としたものである。同研究所の宮入宜人副所長の全体司会により、以下の基調講演、講演およびコメントがなされた。

第1部：地球規模問題：モデレーター：篠塚 徹（拓殖大学国際開発学部）

- ①「ポスト9.11の世界と開発協力」高橋一生（国際基督教大学国際関係学科）
- ②「政策、地球規模の公共物、所有権及び集団行動の役割」マーク・コーエン（IFPRI）
- ③「人口、保健医療、社会福祉及び年金制度」佐藤龍三郎（国立社会保障・人口問題研究所）
- ④「21世紀におけるアジア型防災戦略を考える：パラダイム転換と日本の役割」岡田憲夫（京大大学防災研究所）

⑤コメント：林 薫（国際協力銀行開発金融研究所次長）

第2部：地域問題：モデレーター：藤本耕士（国際協力銀行開発金融研究所所長）

- ①「アジアの貧困について」絵所秀紀（法政大学経済学部）